

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設 (医療施設:三沢市立三沢病院医療機器購入)整備事業						
補助事業者名	三沢市長 種市 一正						
実施場所	三沢市大字三沢字堀口164番地65号外 地内						
補助事業の 成果の目標	母体胎児集中監視システムを導入することにより、複数の母体と胎児の状態をリアルタイムに医師、看護師、助産師が母体から離れた場所で画面ができ、また、医師が院外にいる場合も携帯端末を使い状態を確認できるため、より安全で確実な分娩の進行が図れる。						
補助事業の内容	母体胎児集中監視システム 一式						
補助事業の 始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 18,198,000	円	円	円	円	円 18,198,000
	交付金額	17,000,000					17,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>【成果】 母体胎児集中監視システムを導入することにより、複数の母体と胎児の状態をリアルタイムに医師、看護師、助産師が母体から離れた場所で確認ができ、また、医師が院外にいる場合も携帯端末を使い状態を確認できたため、より安全で確実な分娩の進行が図れた。</p> <p>【評価】 監視装置を使用する職員に聞き取り調査を行ったところ、導入後4ヶ月で、自然分娩、帝王切開、吸引分娩にて出産した101件すべてに使用し、切迫早産では2ヶ月間毎日使用するなど常に状態を把握出来たとのことであったため、より安全で確実な分娩の進行が図られたことが確認できた。また、利便性の高いシステムであることが確認されたため、担当医が学会で紹介を行えた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 母子胎児集中監視システム端末に交付金事業であることを表示。また、病院ホームページや市広報誌、病院広報誌に掲載。</p>						
事業の改善策及び 今後の対応	当院の医療圏である上十三地区唯一の産科であり、三沢市民はもとより近隣市町村においても、安全で確実な分娩の進行を期待していることから、今後とも母体胎児集中監視システムを活用し、地域医療に貢献する。						
事業評価に際しての 第三者機関の活用の有無	特になし。						